

経営学研究会第1回

BUSINESS STUDY GROUP MEETING

本研究会は、公立鳥取環境大学研究者の有志が中心に、
各自の研究テーマを持ち寄り、意見交換し互いに学び合おうとする場です。
学内外問わず、ご傍聴からご指導ご鞭撻頂ける方まで、ご関心ある方は
ぜひご参加下さい。（参加費無料・申込不要・途中入退室自由）

テーマ1 独立監査人の監査報告書の透明化

（記載内容の拡充）－独立監査人の監査報告書を見たことがありますか

柳 年哉（経営学専攻教授）

2009年の世界的な金融危機以降、独立監査人（公認会計士、監査法人）の監査の信頼性が問われてきました。また、会計不祥事も後を絶たず、財務諸表の利用者に対して、監査に関する情報提供を充実させる必要性が指摘されています。わが国において、近年、独立監査人の監査の対象団体が拡大され、海外においては、支店・駐在員事務所の設立には、独立監査人の監査報告書の添付が要求される国も、たくさんあります。当研究会では、現行の監査報告書の問題点を整理し、2021年3月31日の決算から導入される改訂監査報告書はどのように変更されるのか、すでに改訂監査報告書を導入したEUの事例分析を行い、監査報告書の見方に関して報告します。

テーマ2 民間非営利部門による中国環境問題への取り組み

相川泰（経営学専攻准教授）

日本と中国の民間非営利部門について「ベストフの三角形」を出発点として再検討を加える。そのうえで、中国の環境NGO活動につき、グリーン・サプライチェーン構築活動を中心に概観する。

テーマ3 若桜町等の移住定住施策

細野宏（経営学専攻教授）

智頭町等において、森林セラピー事業を森のようちえんや他の医療福祉や観光等関連事業と結び付けて移住定住促進につなげるというビジョンをもって事業展開を図ってきたが、移住定住促進に直接つながる効果はみられていない。むしろ、移住定住促進の観点から関連事業をどう展開するかという視点に立ち、プロジェクト研究や関連する調査研究活動を展開できないかと考えており、関連研究や教育活動に携わってこられた先生方の御意見やご助言を賜りたい。

日時 2019年9月24日（火）15:00～17:50

場所 公立鳥取環境大学教育研究棟1F #4102

スケジュール

15:00～15:05	オープニング
15:05～16:00	テーマ1：独立監査法人～（報告+質疑）
16:00～16:55	テーマ2：民間非営利部門～（報告+質疑）
16:55～17:50	テーマ3：若桜町の移住定住政策（報告+質疑）

お問い合わせ

公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科磯野研究室

（研究会世話役）

鳥取市若葉台北1丁目1番1号

Email: m-isono@kankyo-u.ac.jp

Tel/Fax: 0857-32-9115